

# 高梁市議会だより

第44号  
2020年11月



**特集** 9月決算審査

# 9月決算審査



9月定例会最終日に撮影

9月定例会は、市長・市議会議員選挙の関係で8月20日から9月8日まで開催されました。

毎年度9月の定例会では前年度の決算審査が行われます。今年も本会議と委員会で、所管する分野の決算を審査しました。高梁市の財政は年々厳しさを増している状態です。私たちの税金が正しく使われているかどうかについて、さまざまな質疑が行われるとともに、今年度の追加予算も審議されました。

## 決算 学園文化都市づくり

毎年、高梁市は順正学園に対して高梁市私立学校入学奨励金、順正学園広報費補助金を交付しています。令和元年度決算でも、合計1億円を補助しているため、その内容の精査、今後の負担のあり方について質疑がかわされました。

特に広報費については、パンフレットやCM製作、学校訪問のための経費約1億8000万円のうち5000万円を助成し



メタスタジオ

ています。今後は、令和2年度の国勢調査の結果を見ながら、大学支援について改めて検討していくとの答弁がありました。

商店街の空き店舗を活用して整備されたアニメスタジオの運営費助成については、運営会社が解散してしまったため、現状と、今後の市としての関わり方について質問がありました。

これに対しては、アニメスタジオの基本的な財産は吉備ケイブルテレビが引き継いでおり、市も会社も、アニメスタジオの活用に向けて情報収集や業界への働きかけを行っているとの答弁がありました。

## 議案 一般 高梁市伊藤こども図書基金条例

令和2年7月17日、高梁市は京セラ株式会社元会長の伊藤謙介氏から京セラ株3万株の贈呈

を受けました。その収益を活用するために新たな基金条例制定の提案があり、その具体的内容について質問がありました。

基金は小中学校の図書購入費や読書活動に充てられ、また、収益の使途を明確にするために基金条例を制定します。この基金を活用することで、小中学校の図書購入費に更に乗せしめての答弁がありました。



成羽中学校図書室の伊藤文庫

# 多彩な新型コロナ対策事業で 予防と経済振興の両立を目指す



消防署が購入予定のオゾン発生器



## 主な新型コロナウイルス感染症対策事業

- 1 避難所や福祉避難所の、感染症防止資機材の購入
- 2 保育園、子ども園、幼稚園、小中学校で地場産品を給食で提供するための購入費
- 3 インフルエンザ予防接種の補助の拡充
- 4 新しい生活様式を取り入れるためのリフォーム工事に対する補助
- 5 市内の空き店舗や空き家を活用したテレワークを推進するためのシェアオフィスやサテライトオフィス整備の補助
- 6 消防隊員の感染防止資機材購入
- 7 小中高等学校の修学旅行がキャンセルになった場合の補助
- 8 観光振興による経済支援のため日本遺産推進協議会への活動補助



患者を安全に搬送するためのアイソレーター

### 予算補正 新型コロナウイルス 感染症対策

一般会計補正予算の中で、新型コロナウイルス感染症対策として1億1467万円の国の交付金が計上されており、その使途について質問がありました。交付金の目的は、感染症防止活動や地域経済の活性化とされています。具体的には、左の表のようなことに使用されます。

### 予算補正 住宅リフォーム補助金

一般会計補正予算の商工費では、住宅リフォーム補助金の対象について質問がありました。これはコロナ関係予算のうち、新しい生活様式に係る住宅リフォームに対する補助金で、内装・外装、取り付け、住宅の設備工事、バリアフリー化、外構工事や造園工事など、通常考えられるリフォーム工事はおおむね網羅されています。

委員からの、補助内容はどうかとの問いには、20万円以上の工事が対象で補助率は10分の1、上限は30万円であるとの回答がありました。

### 予算補正 日本遺産を活用した観光

誘客多角化事業委託料200万円は、観光庁の補助金で、全額が国からの支出。新しい旅行のスタイルを提案するという事業で、ANA総合研究所に委託するための予算です。

同じく観光関連では、日本遺産推進協議会補助金1800万円

円が交付される日本遺産推進協議会についての質問がありました。この団体は、商工団体、交通関係機関、文化財保護組織、まちづくり団体等のメンバー11名で構成され、文化庁から交付される3年間で総額約8400万円の予算で取り組みます。補助金は基本的には協議会に直接交付されることとなるため、事業は協議会で実施されることとなります。どのような事業を行ったかは報告されます。



観光客でにぎわう吹屋

**決算** ボンネットバスについて

ボンネットバスの活用状況や維持管理費について質問がありました。ボンネットバスは、ツアー会社へ無料で貸していた平成29年は75回、平成30年は41回運行され、令和元年度は市が4回運行しているが赤字。今年度は備北バスに貸し出して運行をお願いしているとの答弁でした。

委員からは、ボンネットバスは800万円で購入したものであるが、老朽化のため多額の維



ボンネットバス

持修繕費用が発生している。今後は民間への払い下げなども検討すべきという意見が出されました。

**決算** 町内会支援制度について

町内会支援制度は行政協力報奨金以外の振り返り奨励金、支え合い奨励金、清掃美化活動奨励金など令和元年度で終了したことに伴い、それを踏まえて質疑が展開されました。

執行部からは、これまで幾つかの制度を、窓口を一本化してやってきたが、制度が複雑になり過ぎた部分もあり利用の少なかつたものと、他の制度と重複する部分を見直したり廃止したとの答弁がありました。現在、継続している事業は7事業で、行政協力報奨金、道路の維持管理作業報奨金、ごみの減量化協力団体の報償金、地域集会所の整備費補助金、ごみの収集施設設置に伴う補助金、自主防災組織の活動促進を行うための補助

金、LED防犯灯と防犯カメラの設置の補助金が継続事業となつていきます。



マイ・タイムライン講習会（成羽町）

**決算** 移住サポート事業

移住サポート業務を市内の一般社団法人梁クラスに委託したことについて多くの質疑が交わされました。移住の対応件数109件の中、30代から40代の方が約半分程度の相談件数を占め、多くは中国地方、特に県内が約40%、関東地方が17%、近畿地方が19%でした。移住して

こられた16世帯の方は県内から6世帯、県外から9世帯、国外から1世帯でした。移住促進に関わる空き家の掘り起こしの取り組みについては、主に相談などがあつた場合に対応したということであつたため、委員から空き家の掘り起こしは積極的に取り組んでほしいと要望がありました。



都市部で開催される移住相談会

# 討論

## マイナンバーカード関連など 2件に反対

(石部 誠議員)

認定第1号「令和元年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について」は行革関係で引き上げられた各種利用料金などが含まれる。順正学園への補助金やCCへの図書館委託料などが優先的に使われている。またマイナンバーカードは登録者が少なく、市民負担軽減、利便性にも繋がらない。行革・財政難など市民サービスの低下、市民負担増となっているので反対する。

次に認定第3号「令和元年度高梁市水道事業特別会計決算認定について」は現在でも高すぎる水道料金が段階的に引き上げられているものであり、反対する。

請願第2号の「地方財政の充実・強化を求める請願書」は採択するという委員長報告に賛成する。

最後に請願第3号「教員定数の改善と義務教育費国庫負担の

復元を求める」の委員長報告は継続審議だが、学校現場のさまざまな問題解決のためには教育費の国庫負担率を2分の1に戻すことが必要であり、政府に対する意見書の必要性を考え採択を求める。

今議会に上程された全ての議案、更には請願の委員長報告を了とし、賛成とする

(森田 伸一議員)

決算認定3件については7月豪雨災害・新型コロナウイルス感染症対策などの影響から多額の財源が費やされ苦心の決算状況と感じる。厳しい財政状況のなか適切な財源確保もなされており、各決算認定に賛成する。

次に一般会計、特別会計などの補正予算関連3議案はコロナウイルス感染症対策に係る予算措置が主なもので、一日も早いコロナ終息を願ひ賛成する。その他議案5件請願2件は委員長報告を了とし、全ての議案に賛成する。

西日本豪雨災害への対応、生活支援による財政需要は高まっている。今後も厳しい財政状況が続くが、このことで市民サービスが低下しないよう要請し、認定第1号から第3号は委員長報告に賛成する。

議案第78号については、「高梁市伊藤こども図書基金条例」の趣旨を活かし子供の読書環境の充実を望む。議案第81号から第85号の多くは新型コロナウイルス対策だが、今回の補正のみでなく今後も適時・適正な施策を求め、委員長報告を了とする。請願第2号は委員長報告を了とし、紹介議員として、皆様のご賛同を願う。

請願第3号は、委員長報告では継続審査であるが、今議会は改選前の議会であり審議未了となり実質不採択の扱いとなる。そのためぜひとも今議会での採択を願う。

## 請願第3号について、ぜひ今議会での採択を願う

(宮田 好夫議員)

議案第78号については、「高梁市伊藤こども図書基金条例」の趣旨を活かし子供の読書環境の充実を望む。議案第81号から第85号の多くは新型コロナウイルス対策だが、今回の補正のみでなく今後も適時・適正な施策を求め、委員長報告を了とする。請願第2号は委員長報告を了とし、紹介議員として、皆様のご賛同を願う。

請願第3号は、委員長報告では継続審査であるが、今議会は改選前の議会であり審議未了となり実質不採択の扱いとなる。そのためぜひとも今議会での採択を願う。

## 9月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○賛成 ●反対

件名	伊藤	森	平松	森上	三村	黒川	石田	石部	石井	宮田好	森田	倉野	川上修	宮田公	川上博	大月
令和元年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度高梁市水道事業特別会計決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の請願を継続審査することについて	○	○	●	○	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案及び認定案件は全会一致で可決及び認定しました。



# 一般質問

新型コロナウイルス感染症対策  
野猿対策・災害復旧復興  
観光振興・財政・次期総合計画  
など市の課題を質問しました

今のメンバーでは最後となる一般質問では、11名の議員がそれぞれの質問を執行側に投げかけました。今回も新型コロナウイルス感染症対策のため質問時間は30分に短縮され、答弁の担当者のみに出席者を限定した形で開催されました。

地域猫活動について  
市はどのように考えて  
いるのか

答弁：

地域全体として  
考え、地域住民  
が主体となって  
取り組んでいた  
だきたい。相談  
があれば協力支  
援していきたい

森上 昌生 議員

ここを  
ききました

- ・ピースワンコ・ジャパンの飼養シェルターについて、市の把握状況及び見解を問う
- ・野良猫対策について

ピースワンコの施設について

森上 以前、ピースワンコ・ジャパンは保護した犬全頭に狂犬病予防接種を実施していなかった。西山犬舎は飼養困難犬のシェルターで、多くの犬の個体識別ができていないと聞いているが、予防接種などの管理は適切に行われているのか。

市民生活部長 毎年6月までに全頭実施と聞く。鑑札は付けていないがファイリングで管理して、特段問題はないと認識している。

森上 随分と甘い認識だ。600頭以上の飼養困難犬を譲渡することができるようになるのか。

市民生活部長 譲渡に向かない犬もいるが、訓練を繰り返し譲渡に向けて努力していると聞いている。

森上 西山犬舎での、犬の出入り数はどうなっているか。

市民生活部長 コロナの影響で譲渡が増えていると聞いている。

森上 受け入れ頭数と、譲渡頭数の把握ができていない。もつと注意を払うべきだ。

野良猫を減らす対策は

森上 野良猫に餌を与えなければ、野良猫が減るというデータはあるのか。

市民生活部長 手元にはデータは持っていない。野良猫が増える事態を踏まえて答弁した。

森上 餌やりで猫が集まるのは事実だが、餌やりそのもので野良猫が増えるということとは別の問題として考えるべきだ。

新型コロナ感染者に関する SNS での書き込みを認識していたのか

答弁：

リアルタイムでは認識していない



森 和之 議員

ここを  
ききました

- ・新型コロナウイルスの感染に伴う情報拡散と風評被害について
- ・通学路の安全とPTAの要望について
- ・高梁認定子ども園の整備に伴う跡地活用について
- ・空き家情報バンク制度について

新型コロナウイルスの感染に伴う情報拡散と風評被害について

**森** 7月24日、高梁市で新型コロナウイルスの陽性患者が2名確認された。その前日深夜よりSNSなどで、この件に関する情報が拡散されていた。市はこのことを把握していたのか。

**政策監** 市としてSNSで発信された情報の調査や記録はしていない。またその内容や発信時期についても承知はしていないが、今回の感染者の確認に際してSNS上でさまざまな書き込みがなされたことは承知している。

**森** 情報の精度が高くても低くても風評被害は生まれてくる。風評

被害を防ぐためにも、高梁市独自で啓発活動を行うべきではないか。

**政策監** 高梁市においても、しっかりとした取り組みは必要であるが、感染者の人権と風評被害に対する対応については、県民一体となつて打ち出していく必要がある。

高梁認定子ども園の整備に伴う跡地活用について

**森** 跡地の活用は考えているのか。  
**健康福祉部長** 将来的なまちづくりの方向性を見据えながら、有効活用に向けた検討を全庁的に進めていく。

**森** 市民からは公園の整備を求める声も多い。検討をお願いする。

有害鳥獣の種類によって対応が違うが市の基本的な考えは？

答弁：

有害鳥獣対策に関しては、市で有害鳥獣対策室を設置しそれぞれ対策を強化している



川上 修一 議員

ここを  
ききました

- ・有害鳥獣駆除について
- ・農道について

有害鳥獣駆除について

**川上** 電気柵の補助を廃止した理由は何か。学者の見解によるとあまり効果がないため、廃止したと聞くが。

**市長** 検証の結果を受けて内部で協議をした。ワイヤーメッシュのほうが有効との判断をした。  
**川上** 有効かつ簡便に設置できるのは電気柵だ。電気柵の有効性は示されている。防護柵の補助については柔軟に考えることはできないか。

**市長** 3月の委員会では、十分な説明ができていなかったことに関してはお詫びする。また、このことについては、ケース・バイ・ケースで対応していく。9月補正では、

1500万円を計上している。柔軟に対応していく。

農道について

**川上** 市が管理する農道とはどんな道路なのか。法定外公共物の農道との違いはなにか。  
**産業経済部長** 農道は、農業利用を主な目的とした道路。かぐら街道、ふるさと農道などの基幹農道と、それ以外の農道がある。法定外公共物の農道は、受益者が使用している道路で、受益者によって維持管理が行われている。

有害鳥獣対策の防護柵の補助金はどうなっているか

答弁：

決算額で、平成27年、28年が約1,000万円。平成29年、30年は約1,500万円。令和元年度が約1,400万円、今年度は当初予算700万円、補正に1,500万円

三村 靖行 議員

ここを  
ききました

- ・猿害対策について
- ・市所有地等の草刈りについて

有害鳥獣駆除について

**三村** 今年から電気柵の補助がなくなり、ワイヤーメッシュ柵が補助対象となったが、この工法での設置は高齢者では難しい。

**市長** 専門家の意見を聞いて比較検討したが十分な説明ができていなかった。住民の意向を検証する必要があると認識している。

**三村** 事業申請書の提出を先にすると、被害対策が間に合わない。

**市長** 応急的なことについては運用の中で検討する。

**三村** 防護柵の予算が2、3カ月でなくなった理由はなにか。

**市長** 予想外の申請があったため予算不足となった。

**三村** ワイヤメッシュ柵の施工

費を補助すべきではないか。

**市長** 高齢者には負担は大きいが複合柵での電気柵は補助しているので、工事費は補助できない。

**三村** サルの捕獲柵での捕獲は難しい。侵入防止が重要だ。

**市長** 重点的に取り組む。

市有地等の草刈り状況を問う

**三村** 気持ちよく観光に来てもらうため市有地の草刈りをすべき。

**総務部長** 観光施設の草刈りは、委託して年2回行っている。

**三村** 通学路の安全を考え児童の通う6月に草刈りはできないか。

**総務部長** 6月にするとまた9月にしないといけない。通学路を重要路線にするかどうか考え、実態を見て対応したい。

成羽地域の公共施設の跡地活用はどのようにすすめるのか

答弁：

まちづくり全体をどうするか、新たな計画に盛り込む

石田 芳生 議員

ここを  
ききました

- ・防災について
- ・財政について
- ・高梁公共施設等総合管理計画について

高梁市の財政について

**石田** これまでも高梁市独自で教員の加配や18才以下の市民の医療費補助などの施策を行うことができていた。しかし、財政運営適正化計画では今後も経常収支比率が更に上昇し、財政の硬直化が進むと想定されているが、どのように捉えたらよいのか。

**総務部長** 実際には税の収納実績の向上、義務的経費の節減、事業や建設事業見直し、普通財産売却により毎年剰余金が発生し繰越金として活用してきている。ただし、今後も厳しい状況に変わ

ないので行財政改革に着実に取り組み、限りある財源を効果的に活用して健全な財政運営に努める。

公共施設再編について

**石田** 高梁市公共施設等総合管理計画では今後40年間で床面積を40%以上削減すべきとされている。成羽地域での複合施設の建設、既存施設の統廃合ではこの目標は達成できているのか。

**総務部長** 公共施設再編前後で床面積は約50%削減されており、高梁市公共施設等総合管理計画の趣旨に沿うものである。

**石田** 今後の公共施設再編はどのように行うのか。

**総務部長** 個々の施設について、集約、複合化、長寿命化、現状維持、廃止、コスト削減などの公共施設再編計画を令和3年度中に策定する。

高梁川と成羽川の合流部分の浸水対策は急務ではないか

答弁：

堤防やしゅんせつの要望を行っている



石部 誠 議員

ここを  
ききました

- ・新型コロナウイルスの感染予防、事業者や雇用者支援対策について
- ・指定管理協定について
- ・平成30年7月豪雨災害における防災計画及び防災復旧工事について

新型コロナウイルス対策について

**石部** 新型コロナウイルス被害は、病気など健康被害や事業所経営、働いている方の支援が必要。市として総合的な相談を受けるべきでは。

**市長** 市内で雇い止めなど把握している。窮状を訴えている方に対応していきたい。

市の指定管理について

**石部** 市の指定管理先が労務管理などの法令違反で関係機関から指導を受けている。指定管理契約の見直しや再発防止策、議会でのチェックが必要ではないか。

**副市長** 指定管理者から事業報告は受けている。必要に応じて立入調査や指導を行う。

災害復旧工事について

**石部** 新成羽川ダム及び黒鳥ダムに河川監視カメラの設置を。

**政策監** 放流状況の把握は重要。中国電力にダムの放流状況が分かるカメラ設置の要望をしている。

**石部** 小瀬の市道は50cmかさ上げされるが、対岸の藤倉側国道のかさ上げや堰堤の工事計画は。

**産業経済部長** 藤倉地区は対岸より低い。築堤や河川の拡幅などの要望を行っている。今年は河川内の伐採を行う。

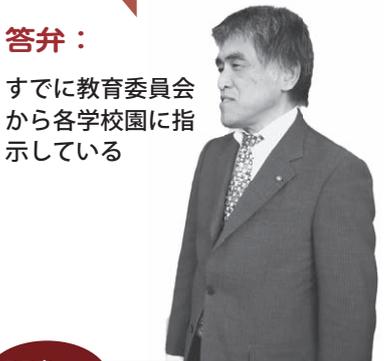
**石部** 阿部陸開工事にあわせて、歩道の拡張工事を求める。

**産業経済部長** 陸開は工事で川側に移動する。空いた部分が歩道になるように要望する。

教室・保育室の室温管理を徹底すべき

答弁：

すでに教育委員会から各学校園に指示している



宮田 好夫 議員

ここを  
ききました

- ・財政状況について
- ・Go To トラベルについて
- ・学校等での暑さ対策について
- ・遠距離通学について

Go To トラベルについて

**宮田** 市はこの施策をどのように捉えているのか。

**産業経済部長** 経済効果は期待できるが、感染拡大が懸念される。観光客誘致は近場から行い、その後近県、国内と段階的に広げたい。

**宮田** 公共交通を担う業者は厳しい状況にある。公共交通網形成計画にある補助金削減は凍結すべきでは。

**市民生活部長** 状況は把握している。路線の見直しや廃止などの検討は当面延期する。

学校園のエアコン管理について

**宮田** 感染症拡大防止から窓を開けてのエアコン使用となる。適正

な室温を保てば電気使用量も増える。しかし子供たちの環境を第一に考え、室温管理を行ってほしい。

**教育長** 本年は特別な対応となる。電気使用量が増えるのはやむを得ない。教育・保育環境を最優先に行うよう学校園に指示している。

※Go To トラベルとは、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ旅行需要を喚起するため、宿泊をとまなう旅行および日帰り旅行代金の最大5割を国が補助する観光支援策ですが、多くの人の移動により感染症の拡大も懸念されています。

次期総合計画は方向性を持った実現性の高い計画にすべき

答弁：

災害復興、移住定住、未来技術の活用という3つを横断的な目標にしている



石井 聡美 議員

ここを  
ききました

- ・落合地区の防災について
- ・高梁市の次期総合計画について

### 次期総合計画について

**石井** 高梁市の次期総合計画についての骨子が発表されたが、そこで使われている将来人口推計の数値が10年後に2万5000人と なっているが、到達不可能な数字に思える。

**市長** 人口は総合計画のベースとなる。日本全体の人口が減少する中、高梁市が将来人口3万人を維持するのは非常に難しいだろうと私も思っている。この数字を達成できるように考えていくという数字でもある。

**石井** 前回の総合計画策定の際にも同じような話だったが、結果として達成できていない。

**市長** 平成23年から28年くらいま

での6年間は、さまざまな移住施策を取っていたため、転出と転入が均衡していた。現在減少しているのは、市内の学生数が伸びていないことも一因。今後も企業の独身寮設置や、新築住宅を所有するための政策を打ち出す必要があると思っている。新型コロナウイルス感染症によって、地方が見直されている。住みやすさを前面に出した計画作りが求められている。

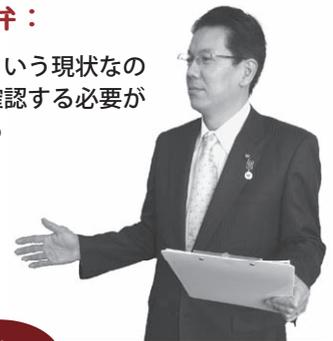
**石井** どんな高梁市の未来像を想定しているのか。

**市長** この街に暮らしている人や移住した人が、10年後にも、この街で良かったと言ってもらえるのが一番だと思っている。そういう気持ちを代弁できるような都市像にしていきたい。

携帯電話が繋がらない、繋がりにくい状況を改善すべきではないか

答弁：

どういう現状なのか確認する必要がある



伊藤 泰樹 議員

ここを  
ききました

- ・携帯電話エリア整備について
- ・小・中学校の修学旅行について
- ・災害に強い安全・安心なまちづくりの推進について
- ・観光振興と新型コロナ対策について

### 小・中学校の修学旅行について

**伊藤** 新型コロナウイルスの影響で、行き先の変更、また中止や延期にもなっており発生する経費は、市で補填できないか。

**教育次長** 企画料や手数料が発生するが、保護者負担の軽減に努めるようにするため補正予算をお願いしている。

### 災害に強い安全・安心なまちづくりの推進について

**伊藤** 平成30年7月豪雨災害から3年、まだ契約、完成に至っていない施設はどうなるのか。

**政策監** 年度内発注、完成を目指すしているが、状況を見ながら適

切な対応をとっていききたい。

**伊藤** 緊急で動ける業者が減ってきている。リスクを把握して行動につなげることで、抜本的対策が必要なのではないか。

**市長** 財源とマンパワーが必要。年次計画をつくり、強化、復興を進めていきたい。

### 観光振興と新型コロナ対策について

**伊藤** 広域的観光振興とは。

**市長** まず隣接市町村と近場で取り組む。

**伊藤** 感染症対策はどうするのか。

**市長** 正しい情報を市民に伝え、旅行する側も受け入れる側も安心して旅行できるようにしたい。

「サル接近システム」を近隣自治体と広域的導入してはどうか

答弁：

リアルタイム情報を流すのは経費がかかり難しい



平松 賢司 議員

ここをききました

・猿害防止の強化について

猿害防止の強化と支援について

**平松** サルによる農業被害はインシシに次いで被害金額が多く、被害面積は一番広い。今後の鳥獣被害防止計画は。

**産業経済部長** 市では計画を策定し3年ごとに見直しをしている。

**平松** 野猿侵入防護柵の補助は延長30m以上。20mに縮小すれば家庭菜園などにも適用できるが

**産業経済部長** 縮小はできない。

**平松** 「サル接近システム」はサルに発信器を取りつけ、群れの情報を市民にも提供する方法で、追い払い活動に役立つ。近隣自治体と広域的導入してはどうか。

**産業経済部長** 市はサルにGPS

を装着し行動調査を行っているが、リアルタイムで情報を流すのは近隣自治体と共同でも経費がかかり難しい。

**平松** 野猿調査の見回りを廃止されたが復活できないか。

**産業経済部長** 実施する。

**平松** サルの威嚇活動の補助を増額できないか。あわせて動物駆逐用煙火消費保安講習会受講料の補助増額はできないか。

**産業経済部長** 有害鳥獣対策全体で見直しをする。

**平松** 有害鳥獣の生態や柵の張り方などの研修会を全市で開催してはどうか。

**産業経済部長** 昨年有漢地域で今の鳥獣被害防止協議会と共催で被害防止の研修会を開催した。

保育園や学童保育の従事者に対しても支援金を交付すべきではないか

答弁：

他業種の従事者との整合性から難しいと判断した



川上 博司 議員

ここをききました

・新型コロナウイルス感染症対策について  
・緊急避難所の環境整備について

保育従事者に支援金を

**川上** 新型コロナウイルス感染症対策の国の補正予算で医療従事者、介護サービス従事者、そして障害福祉サービス従事者の皆さんに支援金が交付できるようになつた。保育園や学童保育の従事者に対しても支援金を交付すべきではないか。

**健康福祉部長** 保育園や学童保育の従事者に対する支援金について研究したが、他業種の従事者との整合性から難しいと判断した。

避難所の暑さ対策について

**川上** 避難所となる小中学校の体育館についてはエアコンが完備されていない。暑さ対策としてエ

コンは必要である。緊急防災・減災対策債等の財源を活用してエアコンを設置すべきではないか。  
**副市長** 小中学校の全ての教室でエアコンが完備されている。体育館が避難所になった場合、暑さ対策として普通教室で対応したい。体育館にエアコンを整備することは難しい。



横浜市立日吉南小学校の体育館 (体育館空調モデル設置校)

## 議会費を削減して 新型コロナウイルス 感染症対策へ

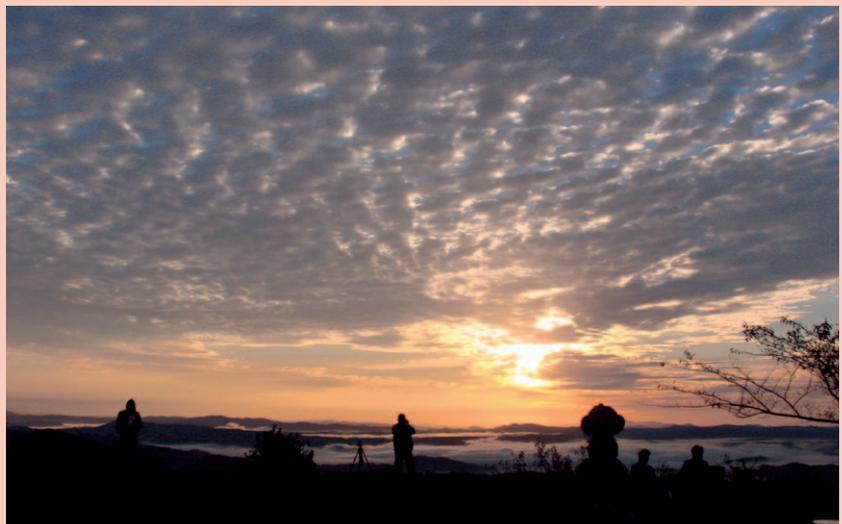
5月15日の議会運営委員会で議会費のうち、視察費の削減について協議されました。委員会では、今期の管外行政視察をとりやめ、その費用390万円を新型コロナウイルス感染症対策に充てるという案を議員全員に諮ることとなりました。

5月22日の全員協議会で、議会運営委員長から視察費削減の案が報告されました。一部の議員からは議員報酬も削減すべきだとの意見がありました。が、視察費のみの削減となりました。これを受け6月定例議会で、議会費減額の補正予算が提案され、全会一致で可決されました。削減分390万円は、マスクやアルコール消毒液などの衛生資材や、サーモグラフィカメラを購入する予算に充当されます。



## 11月号の表紙について

### 弥高山からの雲海



表紙は弥高山からの雲海を撮影した写真です。雲海は例年春先や、秋によく発生すると言われており、高梁市内では備中松山城周辺の雲海とともにこちらも有名です。

弥高山からの眺めは多くの来場者やカメラマンを魅了しています。井原市芳井町の開業医である赤木信齋先生もその一人です。赤木信齋先生は年間を通じて弥高山やその近辺からの眺望を撮影されており、弥高山公園管理事務所内にも作品が展示してあります。

(撮影／赤木信齋氏)

## 編集後記

9月に行われた市議会議員選挙は無投票という結果になりましたが、皆さんはどう受け止められておられますか。私は、さまざまな問題を提起する選挙になったと考えております。

議会広報公聴特別委員会では、市民の皆さんに、市議会とは、市議会議員とはということ、わかりやすく伝え、興味・関心を持って頂けるように4年間頑張ってきたつもりでしたが、力不足を感じております。

今後はより一層、議会や議員の活動をよりわかりやすくお伝えできるように努力いたしますので、ご意見・ご要望をいただければ幸いです。

(伊藤 泰樹)

## 12月の定例会スケジュール

12/7	月	本会議 (議案の上程)
12/11	金	本会議 (一般質問)
12/14	月	本会議 (一般質問)
12/15	火	本会議 (一般質問)
12/16	水	本会議 (議案質疑)
12/17	木	委員会
12/18	金	委員会
12/21	月	委員会
12/24	木	採決

※12月議会への請願のしめ切りは  
12月1日です。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

## 政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



## 編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	石田芳生
伊藤泰樹	森和之	森上昌生	石部誠	宮田好夫	川上博司	石井聡美	石田芳生	

議会広報公聴特別委員会